



ONCC NEWS



卒業される皆さまへ！

早いもので 4 期生（2 年制）、5 期生（1 年制）の皆様方が卒業式を迎えられる時期になってまいりました。

昨年から今年に掛けて各地域同窓会と受講生の皆様方の交流会も実施され、夫々の居住地の同窓会から活動内容を聞かれた事と思います。昨年より介護保険制度が変わり各市・町では地域包括支援体制の構築が進められています。

そのような中で、各地域同窓会では楽しいサークル活動などを通じて、地域の行事に参画しながら社会貢献に寄与されておられます。昨今卒業後、引き続き受講される方も多くおられますが、一つの区切りとして卒業後は、受講しながらも地域の同窓会に加入して頂き、永年住み慣れた地での活動に参加することで地域デビューして頂きますよう切に、お願い申し上げます。

今や人生 100 歳時代を迎え、人生の下山を地域の為に活動することで、子供や孫達に迷惑を掛けないよう心掛ければなりません。

「ヤングケアラー」という言葉をご存知でしょうか？ 小・中・高校生の孫達が、祖父母の介護を担っている若年介護者を言うそうです。その孫達が 1 日 2 時間位、祖父母の介護に費やし、学業にも悪影響を及ぼしている子供達が、大阪府下では 5%（全国 NO.1 多い）おられます。

孫たちに迷惑を掛けない様に健康長寿で過ごすためには、社会参加・地域での活動をお勧めします。

結びに、105 歳の人生を全うされた日野原重明先生の人生最後の言葉を紹介させて頂き、卒業を迎える皆様へ送る言葉とさせていただきます。【NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ 理事長 猪谷 義弘】

「生きていくあなたへ」

クラークさんは「ボーイズ ビー アンビシャス」という「言葉」を遺して北海道を去っていったけれども、私は「キープ オン ゴーイング」。

この「言葉」を若い人と一緒に、みなさんと一緒に口にして、皆さんと一体化して行動すること。感謝に満ちた気持ちで、キープ オン ゴーイング。キープ オン ゴーイング。

さらに、前進また前進を、私たちは続けなくてはならない。

喜びと感謝に満ちた気持ちで、キープ オン ゴーイング。 日野原重明

ONCC 設立 5 周年記念行事「講演と音楽の集い」報告



田頭政泰先生

設立 5 周年記念行事「講演と音楽の集い」を昨年 11 月 29 日（水）に豊中市立文化芸術センター中ホールにて行われ、400 名の方にご参加頂きました。

第 1 部の講演は「セカンドステージは水郷巡りの手漕ぎ船頭」

元大阪府立高等学校長の田頭政泰先生が退職後、近江八幡和船協同組合の船頭さんとして活躍されて 11 年目になり、毎日の船頭生活を楽しんでおられる様子をほっこりと軽妙な語りで聞かせていただきました。

第 2 部の音楽は豊中市に本拠地を置く日本センチュリー交響楽団のメンバーによる「弦楽四重奏」

バッハベル：カノンで始まり、2 曲目はモーツァルト：アイネクライネナハトムジーク、次はポロディン：弦楽四重奏第 2 番から 1、3 楽章。

クラシック音楽の後は、馴染みある日本のポピュラー音楽をたっぷり聴かせていただき、弦楽四重奏の美しい音色に魅せられた至福のひと時でした。

平成 30 年 11 月 21 日（水）豊中市立文化芸術センター中ホールにて ONCC 設立 6 周年記念行事「講演と音楽の集い」を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



大学提携授業（梅花女子大学・立命館大学）

第2回（平成29年12月13日）梅花女子大学食文化学部管理栄養学科 井戸 由美子教授 講義のテーマ 「健康寿命を延ばすための栄養学」

寒波到来の朝、受講生の皆さんが乗車しているスクールバスが梅花女子大学へ次々に到着。澤山記念館講堂にて今年度着任された井戸由美子先生より「ダイエット」、「糖尿病」、「肝臓の働き」、「高血圧」、「腸内フローラと便秘」についてパワーポイントを駆使しながら、お話いただきました。

- * 毎日食べているものが明日の自分の身体を作る
- * 寿命を延ばすためには毎日の食生活に注意が必要

そして、先生の研究テーマでもある『腸内フローラ』のお話では「腸は第二の脳」、腸の神経細胞は脳に次いで多い、腸をコントロールすることが心の健康にと。また、腸内の環境を整えることが大切ということで「オリゴ糖」のサンプルを頂きました。



病院勤務など、これまでの経験からの豊富な知識を短時間の講義で気の毒なほどでしたが、先生の『健康寿命を少しでも伸ばすためには！』の話に、都度頷く受講生の姿も多く見受けられました。

講義終了後、梅花歌劇団「劇団この花」のパフォーマンスを楽しく観させていただきました。



井戸由美子先生

第3回（平成30年2月14日）立命館大学 政策科学科 豊田 祐輔准教授 講義のテーマ 「近年の防災対策と歴史都市の防災」



豊田祐輔先生

冷え込みが厳しい朝、一年ぶりにいばらきキャンパスに集合し「近年の防災対策と歴史都市の防災」と題して、専門分野が「防災まちづくり」の准教授に講義いただきました。

南海トラフ地震が発生すると、広い地域で大変な被害が生じると想定されていますが、今後の災害に備える重要性、そして、自分と大切な人を守るためにはどうすべきか等、クイズもまじえながらお話していただきました。

「今日のひとこと」より

- ・阪神淡路大震災から23年がたって、防災の事がだんだん薄まってきていました。今日の話聞いて、もう一度、家の点検をしてみようと思いました。
- ・防災を色々考えさせられました。一時避難所の事は私の地域では知りません。人に聞いてみようと思います。参加して良かったです。
- ・今日の講義を契機に自分の身の回りを総点検する良いきっかけになりました。



卒業式を迎えて！（2年制学科）

キャンパスライフ(水彩科) 4期生 高槻教室

入学時、土方先生のメッセージとして、「人間は感動したものを描き、表現したい。そういった気持ちが絵画の基本的動機だと思います。」その言葉で水彩科に！

2年目は水彩技法、静物、風景、人物、郊外スケッチの要点、色彩の技法本当に分かり易く教えて頂きました。講義だけで分かるはずもなく、デモンストレーションしていただいてどれだけ助かったことでしょう。観察力、表現力、何を描こうとしているのか、個性を出す、まず多く描くこと等々全ては書けませんが、本当にありがとうございました。



終了後各自いろんな道にいられるでしょうが、2年間の思い出を大切に、チャレンジ精神を忘れないように！最後になりましたが、CAの皆さま お世話になりました。 【文： 清水 広子】



2年間の水彩画教室を振り返ると、あっという間であった。水彩画は中学以来、ほとんど描いたことがなかったが、数年前から旅行に出かけた際、ホテルの窓からの景色、船旅で立ち寄った港の風景等小さなスケッチブックに思い出として描くようになり、少しでも上手く描きたい、また印象をしっかりと残したいと思って、入学しました。最初の頃は、F6の画用紙一杯に描くことに戸惑いを感じていたが、土方先生のご指導と仲間の励ましに支えられ、何とか見られるものが出るようになったと喜んでいました。今後も良き仲間と励ましあい「人間死ぬまで勉強！」を合言葉に続けたいと考えています。

そして、私の葬儀の祭壇には自分の作品を飾り、最後の個展としたいものだと思っています。同窓の皆様有難う御座いました。ONCC並びに、スタッフの皆様有難う御座いました。【文： 泉 潔】

歴史のロマンと謎に迫る科 4期生 茨木教室

古代史の謎に迫ろうと集いました57名は、2年目には個々の事情により10数名の退学者を出しましたが、若井、狩野、柳沢講師の楽しい、熱心な講義で無事卒業を迎えられます。

年2回の現地探訪ツアー「山辺の道」「古代の飛鳥」「大津市の建部神社、大津宮跡、近江神宮」「平清盛ゆかりの地」も個人では出掛けて行かない場所に、季節を楽しみながら、講師の説明を受けて有意義な1日を過ごしました。

また、学生時代に戻ったような「ふれあい交流祭」も、課題を見つけ、班単位で関係ある神社や遺跡を訪ね歩いたことが思い出に残っています。

今後も、この教室で知り合えた方々との交流を大切にしたいです。【文： 田中 照美】



平成26年から受講した「2期美術科水彩」を卒業し、さて次は何を受けようかと考えた末、「4期歴史ロマン」を受講することにしました。「邪馬台国はなかった」「盗まれた神話」など画期的な歴史観の古田武彦のファンで、古代史が好きだったからです。

1年目は、その邪馬台国から始まり、2年目は奈良時代から保元・平治の乱まで来て終えた。各回の講義はテーマが絞られ、講師の熱弁にその時代のドラマを感じさせられた。例えば、教科書には出てこない歴史を左右した女性の役割「女院の働き」、「院政の出自、果たした役割」など人間の営みが生き生きと語られ興味深かったです。また、山辺の道、古代の飛鳥、大津宮跡、神戸福原などの現地見学も楽しく、詳しい講師の案内でよく理解できました。【文： 朝日 嗣雄】

歴史と古典文学を学ぶ科 4期生 豊中教室

あっという間でしたが、内容の濃い2年間でした。歴史は古代から近世まで幅広く学び、1年目は「謎多き斉明天皇の時代」を研究テーマとし、2年目は「建武の新政を駆け抜けた楠木正成」を取り上げ、夫々関連の地を班の皆で訪れました。

古典文学では、1年目は「源氏物語」「万葉集」、2年目は「平家物語」「徒然草」・・・「近松の戯曲」等を学びました。講義に触発されて、「源氏物語」は最も原文に忠実とされている谷崎源氏を完読しました。「日本霊異記」も読み、現在吉川英治の「新平家物語」を7巻まで読み進めています。この講座を受講しなければ、読む機会を逸していたと思います。

仲間と一緒に楽しく2年間を過ごすことが出来、感謝しています。お世話頂きましたCAの岡田さん、梶浦さん有難うございました。【文： 竹本 照子】



歴史は2年間で古代から近世までを、古典文学は1年目に源氏物語と万葉集、2年目に平家物語、徒然草などの様々な古典の名作を3人の先生方（若井先生、大森先生、たつみ先生）のユーモアあふれる講義で楽しく学ばせて頂きました。

また校外学習により、歴史や文学ゆかりの史跡の探訪や文楽鑑賞も楽しい経験でした。ふれあい交流祭、クラスミーティング、食事会などを通じて、クラスの仲間と楽しい交流ができたのも良い思い出になります。

終わってみれば、あっという間の2年間でした。クラスの運営を指導し、サポートして下さったアドバイザーの岡田さん、梶浦さん、ありがとうございました。【文： 中川 慎一】

西国街道の史跡を訪ねる科 4期生 豊中教室

当クラスでの2年間の修業では、教王護国寺（東寺）から平清盛の修築による大輪田泊までの西国街道とその周辺地域の史跡等を座学と現地探訪、そしてその地域の歴史資料館での調査により学習効果を高めていくものでした。この区間での西国街道では、北摂の三川合流地域での学習密度が高く、その地勢上の特徴から、歴史的にも重要な地域であることも理解できました。また、現地探訪ではその歩行距離が適切に計画されており、探訪途上での安全確保と体調管理にも充分な配慮をいただき、引率して頂いたCAの先生方やボランティアガイドの方々に感謝申し上げます。【文：松苗 礒治】



1年目は、西国街道沿いの名所旧跡である伊丹の有岡城、池田城、西宮の西国街道、湊川神社等西方面を探訪しました。2年目は、東寺から始まり物集女古墳群、気持ちよく歩いた竹の径、西本願寺、長岡天満宮、今城塚古墳、石清水八幡宮等々、歴史を学びながら暑い夏も寒い冬もよく歩きました。クラス全員での現地での昼食も楽しみでした。



意義深く、楽しかった2年間を走馬燈のように思い出します。お世話くださいましたCAの下村さん、林さん、釘本さんに心より感謝申し上げます。そして、クラスの皆様のお陰で楽しい2年間でした。お別れは淋しいけれど次のステップへ。本当にありがとうございました。【文：松永 宏子】

卒業式を迎えて！（1年制学科）

地域福祉を学ぶ科 5期生 豊中・吹田・高槻教室

「地域福祉」という言葉は取付き難く、ハードルの高いものです。

最初の授業で、「ふくしとは、ふだんの くらしの しあわせ」と教わり、目から鱗が落ちました。周りの人みんなが幸せになることを願い、地域で普段から活動している人達の何と多いことか。授業で地域の実態を知り、子どもの貧困、それを支援する人達の姿に涙を流したこともありました。校外活動で奈良の植村牧場に行き、障害者雇用を進めて来られた女性のお話に感動したのも、この科に入ったからこそ、と思います。受講生も地域で活動されている元気な方が多く、刺激を受けました。これからも、積極的に生きようという思いを与えていただいた先生・仲間たちに、サンキューです。【文：尾崎 秀顕】



一昨年、市民後見人養成講座を受講し終えたところで、偶然ONCCの案内を見まして地域福祉と言う後見人養成講座と関連しているようなので、復習のつもりで受けることにした次第です。

同じ世代の方々と一緒に、豊中市の福祉の状況、課題等いろいろ教えて頂きました。また、交流祭という入学当初は思ってもいなかった機会をいただき、教室仲間とのパフォーマンスは楽しい経験でした。

住みやすい町にしていく為に、身の回りで出来ることから始めて行ければと思っています。現在、月1回の子供食堂の手伝いをさせて頂いており、まずは出来ることから始めて行きたいと思っています。【文：近藤 薫】

音楽を楽しく学ぶ科 5期生 池田教室

音楽に関して今までは、たまに演奏会を聴きに行く程度でした。「音楽を楽しく学ぶ科」を受講して松本先生の音楽史の講義、映像を通しての演奏、「アンサンブル・サビーナ」さんの生演奏が毎回聴けて大変幸福な時間を持つたと思います。また、バイオリン、フルート等楽器の経験も楽しかったです。バイオリンは少し音が鳴りましたが、フルートはいくら吹いても音が出ませんでした。これも良い思い出です。

ふれあい交流祭はイタリア語で「Vieni sul Mar」を歌いました。松本先生に熱心にボイストレーニングから教えて頂き何とか歌うことが出来ました。

これからも音楽を身近に感じて生活したいと思います。松本先生、サビーナの皆さま、CAさん、お世話になりました。【文：宮本 和子】





本学科では、松本先生の毎回8頁に及ぶ講義資料とDVD映写、時に歌唱も含めた巧みな講義並びにアンサンブル・サビーナの生演奏もあり、毎回の講義が楽しみでいつもワクワク感がありました。

世界史の中での音楽史と人権確立の歴史、そしてクラシック音楽家とその楽曲に秘められた時代背景等、本当に素晴らしい知識を習得することが出来ました。

ふれあい交流祭での「Vieni Sul Mar(海に来たれ)」他の合唱では、リズムを重視してカタカナで覚えたイタリア語の歌詞を歌う難しさがありましたが、何度も練習して進歩して行くことに受講者全員の充実感が感じられました。

本学科を受講して音楽により深く親しむことが出来た幸せと満足感で一杯です。【文： 高橋 全治】

街道と水運の史跡を探る科 5期生 豊中教室

この一年間、講義の後の探訪は「百聞は一見に如かず」の通り、スライドで見るとよりも実感ができ、最後の探訪まで無事故で参加することが出来ました。

学習成果発表会のために、班で神崎川を東淀川区の江口から尼崎市の神崎まで、残暑の厳しかった季節から気候の良くなった11月初めまでの期間、4回に分けて約30Km歩きました。今まで気にも留めなかった地元の史跡の一部を知ることが出来、授業で現地を歩くことを教えていただいたことにより、路傍に気配りしながら歩くようになりました。これもひとえに受講した成果がなあ、少くも成長できたかなと思っております。

皆さんのおかげで本当に楽しく過ごすことが出来ました。【文： 網代 隆吉】



講座生が実に生き生きしており、常に笑いの絶えない授業、このような環境の中早くも一年が過ぎようとしています。

当初、いきなり班長の役目を仰せつかり“めんどくせー”と思っていたが2ヵ月も過ぎる頃には充実感一杯で、金曜日が待ち遠しくなってきました。これは、講座は元より反省会と称した仲間達との交流に因るところが大きいと思っています。

若輩の私を温かく迎え、種々フォローしていただいた素敵な仲間達との楽しい交流は忘れられない思い出です。種々事情もあり本年でONCCは卒業させて頂くが、機会があれば、亦入学したいと心より思っています。本当に有意義な一年でした。

改めて講師の前田先生、葎中CA、講座生の仲間達に感謝する次第です。【文： 元田 憲志】

わくわくアウトドア科 5期生 吹田教室

スポーツは昔から大好きで、アウトドア科に入ればゴルフ仲間も出来るのではと思い入学しました。4班は地域もバラバラですが、それが逆に纏まりの良いチームになっています。私自身、体も固く腰も良く有りませんが、夏の海洋実習やオリエンテーリング、ウォークラリーには何とか皆と一緒にやり切れました。初めてプレーしたグラウンドゴルフやパークゴルフではトップ賞も頂き自信にもなりました。何気なく作り始めた手書き4班講座通信も1月で60頁、写真も約150枚収録で完成しました。

これらの事が私を励まし一年間休む事なく活動が続けられたのだと思います。チームメイトには感謝しか有りません。【文： 宮本 一美】



学科説明会で“わくわくアウトドア科”を知り、申込を決めました。それは、プロジェクターに映し出された写真が、余りにも楽しそうだったからでした。運動音痴の私は内心”大丈夫かな?!”と心配もありましたが、4月より講師の仲原先生の優しく、解りやすい指導に、アウトドア科に決めて良かったと思いました。特に私の心をとらえて、離さなかったのは、徳島阿南の海洋実習です。その日は台風の余波で波があったのですが、講師達の見守る中、カヤックで大海原に乗り出した時の感動や海と一体になった喜びは、普段の生活ではとても得られない体験となりました。

CAの伊藤さん築城さんの支えがあって、クラスの皆さんとの楽しい出会いになり本当に感謝しています。クラスで体験出来た思い出は、一生の宝物になりました。また地域での活動で参加する事があればクラスで学んだ、沢山の事を活かしていきたいと思っております。【文： 高木 久美子】

カメラをもって遊ぶ科 5期生 茨木教室

1年間、学ぶ機会を与えて頂き有難うございました。久々に学ぶ喜びを感じた日々でした。大坪先生のカメラ講義とロケ写真の的確な講評、江島CAと山上CAの適切なアドバイスで楽しい日々を送ることが出来ました。紆余曲折があり、7月にクラス代表に就任しました。「ふれあい交流祭」では珈琲部門担当として、クラス全員の力で珈琲を完売出来たのも良い思い出です。

クラス代表になったから、クラスの各責任者やCAの方々とも親しくなれました。只、「カメラをもって遊ぶ科」は、第6期には無くなります。クラスの仲間に慣れ、カメラの楽しさも分かり、後1年ぐらいいは続けたいとの思いがあります。継続出来ない事が心残りであり、残念です。【文： 河野 孝】



大坪先生の大ファンだったので、昨年4月にONCCに入学。ボキャブラリーが豊富で、お話し上手な先生から褒めていただけた時はうれしくて！うれしくて！学校に通うのが楽しくてたまりません。それとクラスについては、三代目の代表さんになってからはとても物事がスムーズに運ぶようになり、快適に過ごせるようになりました。

「先生の魅力的な講義」と「三代目代表さんやCAさん、我が2班の班長さん、ふれあい交流祭の時に活躍して下さった方々など、いつも、人が嫌がることをすすんで引き受けて下さっていた方々」のおかげで、充実した日々を送ることができました。ありがとうございました！【文： 大石 日菜子】



歴史のロマンと謎に迫る科(中世) 5期生 豊中教室

あっという間の一年、なかなか中身の濃い一年でした。

初めてのONCC、またクラス委員長に選ばれ、ベテランの先輩方々に身を任せ、またクラスのいい雰囲気に背中を押されながら、やって来ました。授業はもちろん興味深いものが沢山ありましたが、校外学習（妙見山のBBQ、京都国立博物館・三十三間堂、大覚寺・嵯峨野天龍寺、千早赤坂村ツアー）で回を重ねる毎に各班とクラス全体が打ち解け盛り上がり、感じが取りました。

11月の「ふれあい交流祭」では各班は見事にやり遂げられ、只々感心するばかりでした。私は広報・記録部会のリーダーを担当し、ONCCの本部の皆様、CAの方々に助けられていい経験、いい出会いとなりました。感謝！感謝！【文： 重松 英樹】



「古代」は、昔話や伝説のようなロマンがあり、聞いているだけでも楽しい！と、思っていました。「中世」は、昔、教科書で習った断片的な事柄や、名前などが並び、学生時代の延長線上のような気がしていました。が、始めてみると、一つ一つの事象や、一人一人の人物に奥深く入り込み、その歴史のドラマに感動し、その時代を思い描きながらの楽しい授業で興奮を覚えました。諸先生方のお蔭で、頭の隅に残っていたかすかな記憶を呼び覚まして頂き、美しい色に染め上げて頂けたと思っています。

CAさんのお人柄を反映し、真面目で楽しく、勉強熱心なクラスに恵まれました。何と言っても、和やかな雰囲気の中で受講させて頂いた事は、大変嬉しく有難いことでした。中世はもう卒業ですが、近世も楽しみです。クラスの皆さま、仲良くして頂いて本当に有難うございました。【文： 後藤 恵美子】



歴史と文学の人と心を学ぶ科 5期生 摂津教室

この1年間、若井先生、鈴木先生、斉藤先生からいただいた講義、クラス活動、班活動で訪ねた遺跡、寺社、博物館等記憶に残るものでしたが、私にとっては、「ふれあい交流祭」の実行委員長を務めたことが、何と云っても、最も印象深いものとなっています。5月の「クラス代表の会議」で、想定外の、実行委員長を引き受けることになってしまいました。

「大変なものを引き受けたね」とも言われましたが、実行委員・CA・ONCCスタッフの方々がそれぞれの役割で非常に的確かつ精力的な業務をしていたので、大きな問題もなく、無事「ふれあい交流祭」を終えることが出来ました。

1年間、お世話になりました皆様、有難うございました。【文： 中島 博行】





あっという間の一年でした。岩井先生・鈴木先生・斉藤先生はいつも熱心にご指導くださいました。卑弥呼から始まり様々な人物をテーマにした学習でしたが、授業ごとにその人物の特徴などを説明して下さることで新しい知識を得ることができました。また、校外学習で国立民族学博物館のシーボルト展や現地探訪ツアーで斉藤先生に奈良女子大学を案内いただき、学生食堂で昼食をとったこともいい思い出になりました。個人的には夏休み期間中にブログ講習会に参加させていただき、そのおかげで摂津教室のブログを書かせていただくという貴重な体験ができました。 【文： 吉永 宏】

1 年を振り返って！

水彩とパステルのアート科 5期生 吹田教室

4月、期待と不安の入り交じった気持ちで入学、水彩道具一式を購入し、ついでいけるか心配でドキドキしながら受けた土方先生の授業 午前は講義、午後は先生のデモンストレーションと実技の充実した内容です。
特に午前の講義はユーモアを交えた語りで難しい内容も分かり易くとても楽しい時間です。午後のデモンストレーションも先生の神の手の素晴らしさに驚き目を見張るばかりで、絵は実物より何倍も感動を与えると知りました。同じ対象物を描いても表現方法は同じにならないのが絵の難しく、面白いところです。一年間学んだ成果です。二年目もクラスで絵を楽しみたいと思います。先生、CAの野呂さん、上田さんよろしくお願いたします。 【文： 石野 みどり】



男性26名、女性22名でスタートしました。年のせいでクラス全員の名前が覚えられません。それでも気軽に冗談も言い合えるようになり、教室での会話も賑やかになりました。
最近A1という言葉をよく耳にしますが、私達はこの教室のお陰で、楽しく触れA1、励ましA1、元気に過ごせました。健康寿命も延びそうです。また授業の成果も出てきたと感じます。多忙な冬休み中も制作に励み、休み明けには素晴らしい作品を提出するなど、熱心な受講生ばかりです。
絵にゴールはありませんが、自画自賛できる日を目指にがんばります。来年度の授業はパステルになり、画材も水彩画とは大きく変わりますが、初めての挑戦なので楽しみです。 【文： 鶴崎 欣宏】

歴史のロマンと謎に迫る科(古代) 5期生 高槻教室

昨年4月の「邪馬台国」から始まり2月の「行基と大仏造営」まで、一年かけて古代史について学びました。日本書紀、古事記等の資料を基に各先生方から講義を受け、日本国の成り立ち、朝鮮半島との関係、豪族たちの争い、天皇の即位の経緯等に思いを馳せながらの一年があっという間に過ぎました。その間 校外学習では古墳巡り、大学提携授業、博物館・資料館の見学、バスツアーで明日香村を訪ねたり、またふれあい交流祭の準備展示で忙しかったり、グループ活動ならではの体験が出来ました。
最後は各班の成果発表をして締め括りとなりました。一年目の経験を基に二年目はさらに充実した授業になるのではと期待しています。 【文： 小田 武】



リタイアしてから、やりたいことがやれ、気の向かないことは避けて通れるという今を幸運に思っています。豊富にある時間を種々の講座や趣味グループに参加して来ました。一年前に偶然ONCCを知り、テーマや教室の場所を考え早速申込みました。信条としている「知るは喜びなり」の実践の場と期待したからです。期待通り各先生の熱心な講義に引き込まれました。古代のロマン“邪馬台国から大仏造営”と実に充実した勉強ができました。午後の班単位の課外学習など学生に戻った気分も味わえました。若かりし頃「和して同ぜず」をモットーに友達を作ったことがあります。
後半の一年は最良の友が出来ることを期待して元気に通いたいと思います。 【文： 横田 賢司】

平成30年度 公開文化講座のご案内

「公開文化講座」を下記の通り開講（一部開催中）しますので、ご案内します。

本講座はシニア層に限らず、どなたでも受講いただけます。

講座名・講師	開催期日（午前中）	場所
「芥川龍之介・太宰治の文藝の魅力を探る」 細川正義先生（関西学院大学名誉教授）	1/22、2/26、3/26、4/23、5/21、6/25、7/30、 8/27（各月曜日）、【全8回】	豊中市 関西アーバン銀行
「女性はどう生きてきたか～近代文学作品で紐とく～」 たつみ都志先生（武庫川女子大学名誉教授）	前半：4～7月第3木曜日、8/30、9/20 後半：10～2月第3木曜日、3/28 【全12回】（応募者多数で締切りました）	豊中市 関西アーバン銀行
「大伴家と万葉集」 大森亮尚先生（古代民俗研究所代表）	6～12月第1木曜日（8月は、休み） 【全6回】	豊中市 関西アーバン銀行
「明治維新を考え直す」 裏紫都子先生（ONCC歴史文学講師）	5/23、6/27、9/26、10/24、11/28、1/23、 2/27（各第4水曜） 12/15（土） （7月、8月は、休み）、【全8回】	茨木市 ローズWAM 福祉文化会館他
「古市百舌鳥古墳群はどのようにして出現したか」 前田豊邦先生（ONCC古代史講師）	講義7回（5/2、5/30、6/6、7/4、8/1、9/5、 10/3） 現地見学（終日）3回（11/7、12/5、1/16） 【全10回】	豊中市 関西アーバン銀行
王権シリーズ 若井敏明先生（ONCC歴史講師）	夏期講座	茨木市 ローズWAM 福祉文化会館

平成30年度 主な行事予定 （注）大学提携授業は仮日程です。

行事名	開催日	開催場所	行事名	開催日	開催場所
入学式	4月5日	吹田市メイシアター	大学提携授業	12月12日	梅花女子大学
ふれあい交流祭	10月31日	吹田市メイシアター	大学提携授業	2月13日	立命館大学
6周年記念行事 「講演と音楽の集い」	11月21日	豊中市立文化芸術センター中ホール	卒業式	3月8日	吹田市メイシアター

ONCC会員の入会と継続のお願い

平素は当法人へ格別のご支援・ご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

つきましては、平成30年度「ONCC正会員」にご加入くださいますようお願い申し上げます。

会員の皆様には、各学科・公開講座・イベント等に優先的にご参加いただけます。

茨木連絡事務所へお電話ください。「正会員入会申込書」と年会費3,000円の郵便払込用紙を郵送します。

電話 072-646-9422 FAX 072-646-9423

編集後記 「光陰矢の如し!」、言い古された言葉ですが、早いもので昨年4月に入学された5期生の方は、あっという間の一年では無かったかと思えます。また、4期生の方はいつの間にか二年が過ぎ去ってしまった感じがしているのではないのでしょうか。今年も、また3月に卒業生の方をお送りし、4月には新しい受講生の方をお迎えしての一年が始まります。卒業生の皆様も、今年1年間の過ごし方は、既に決めておられることと思えますが、昨今は「人生100歳」の時代に入ると言われております。毎日をお元気で“100才越え”の目標に向かって、これからも日々 ご活躍されることをお祈りいたします。（佐々木）

